

平成29年度第3回南丹市社会教育委員会議 会議録

日時 平成29年11月27日(月) 午前10時～午前11時40分

場所 南丹市役所 2号庁舎3階 301会議室

会議出席者(順不同、敬称略)

社会教育委員 麻田健治、大嶋久美子、北村友子、小南 仁、宇野 齊

清水範子、冨田陽子、中野愛子、片山敏哉、三觜宏孝、上垣昌之

市教育委員会 山内教育次長、寺田社会教育課長、浅田課長補佐、木上(恵)主任、

木上(源)主事、森社会教育主事

傍聴人 0名

1. 開会あいさつ 中野代表

2. 熟議体験

○講演「地域社会における子育てについて」

講師 南丹市教育委員会学校教育課 榎 参事兼総括指導主事

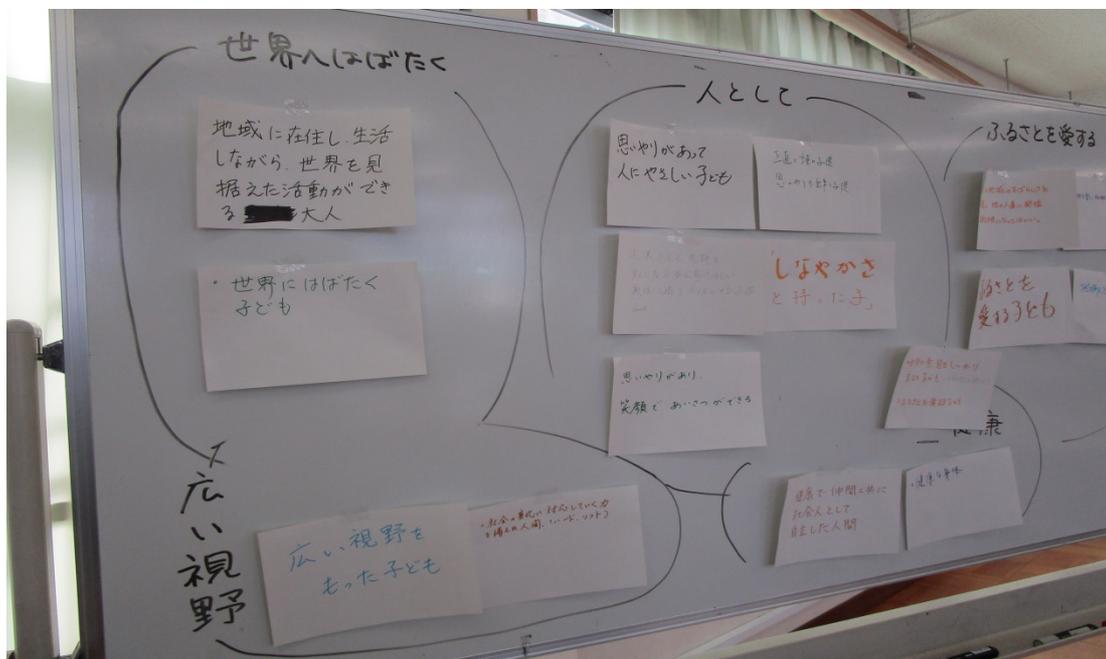
○熟議体験

■南丹市の子ども達にどのように育ってほしいか

「南丹市の子ども達にどのように育ってほしいか」を考えてもらい、紙に書きだし自己紹介と共に「なぜそう思ったのか」を発表してもらおう。

- ・広い視野を持った子ども
- ・健康な身体
- ・健康で仲間と共に社会人として自立した人間
- ・思いやりがあり、笑顔であいさつができる
- ・礼儀正しく礼節を重んじる子どもに育ってほしい。義理人情を大切にする子ども
- ・思いやりがあつて人にやさしい子ども
- ・正直で強い子ども。思いやりのできる子ども
- ・しなやかさを持った子
- ・自分の意見をしっかり言える子ども(自分の考えを持てる)ふるさとを愛する子ども
- ・故郷を愛し、故郷に根付く子
- ・地域を愛する子
- ・自分の地域のすばらしさを発見し、他の人達に発信できる子どもになってほしい
- ・地域に在住し、生活しながら世界を見据えた活動ができる大人

- ・ふるさとを愛する子ども
- ・世界にはばたく子ども
- ・社会の変化に対応していく力を備えた人間（ハード・ソフト）



それぞれに出た意見を「世界へはばたく」「人として」「ふるさとを愛する」「広い視野」「健康」に振り分ける。このような子どもに育つためには、何ができるか？何ができそうか？をグループで意見を出し合い発表してもらおう。出た意見（キーワード）は紙に書きまとめ意見集約に活用してもらおう。

■グループで話し合っ

それぞれのグループから出された意見（アイデア）を発表。

- ・周りが意識、環境を変える。
- ・イベント等子どもを巻き込んだ取り組みをする。

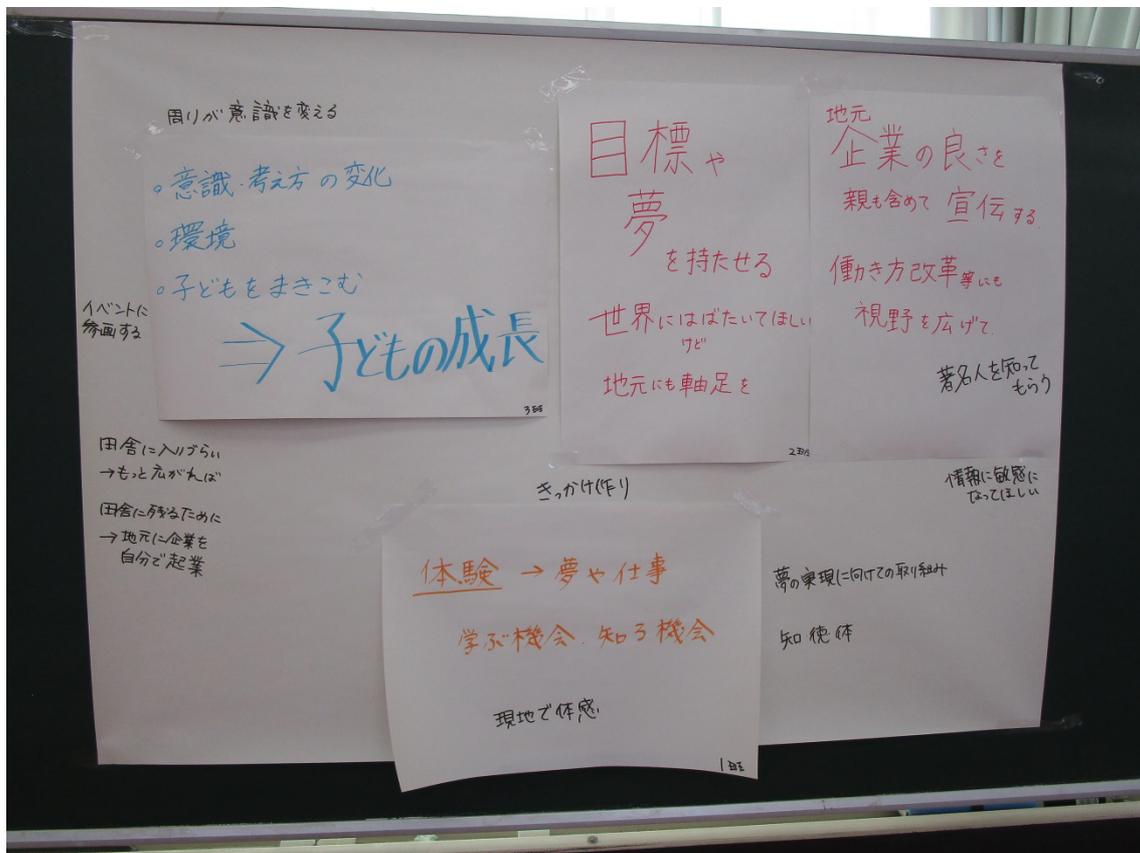
⇒子どもが地域の人や地域に溶け込むことで子どもの成長につながる。

- ・様々な体験をすることで、自分の将来の夢や仕事へのきっかけづくりとなればよい。
- ・体験することは、夢の実現に向けての取り組みの一つとなり得る。

⇒体験をすることで、自身が体感し夢の実現やなりたい仕事への意欲につながる。体験は、知る・学ぶための貴重な機会である。

- ・夢や希望を持ってほしい＝世界に羽ばたいてほしいが、地元にも軸足を持ってほしい。

⇒地元企業の良さを宣伝する。また、地元出身の著名人を知ってもらう。色んな情報に敏感になってほしい。



■まとめ

様々な意見が出たことで、何かヒントがあったかもしれない。このような熟議を各学校で行うことにより、地域と協働した取り組みが進められるようになる。

今後、熟議の場への参加について確認し合いたい。